

株式会社エスケー精工

平成26年度

■事業計画名

産業用ロボットの高精度複雑形状部品の無人化加工技術の確立

■概要

受注対応している産業用ロボットの部品は試作単品から量産へと移行過程にあり、コスト削減要求に応えるため、多工程連続切削加工に対応できる特注マシニングセンターを導入し、高精度・複雑形状部品の長時間連続自動運転を可能にする生産技術を確立し、加工工数の48%以上削減を目指す。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

産業用ロボットの部品を加工するため、高速・高精度門型マシニングセンタFJV-250Ⅱを導入し、専門設備のライン化を進めた。

その結果、産業用ロボットの高精度複雑形状部品の無人加工ができるようになった。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社エスケー精工（上田市）

高精度な金属切削加工で存在感をアピール。
「全員素人」の若きものづくり集団の挑戦。

機械の能力に合わせて加工の幅を広げる

「うちに技術の経験者は一人もいません。全員素人です」。

エスケー精工の山田夏江社長が20年勤めたものづくりの会社を辞め、同社を設立したのは2000年、49歳の時でした。技術についてはまったくの素人。しばらく自宅で部品製造の請け負い（加工は外注）をしていましたが、法人化にともなって中古機械を1台買い、工場を立ち上げました。山田社長は次のように振り返ります。

「取引があった地元の大手機械メーカーから、飾りでいいから機械は置いておいた方がいい、とアドバイスされて（笑）。でもせっかくだから動かそうと、当時高校生だった三男（山田寛幸取締役製造部長）が機械メーカーで講習を受けて技術を覚え、若い社員たちに教えて加工を始めました。そのやり方は今も続け、みんなで技術力を高めています」。

自社加工ができるようになり、関東近辺の企業を中心に受注が増加。周囲の会社にはない機械を導入することで会社の特徴を出しつつ、機械の能力に合わせて加工の幅を広げてきました。また特急の仕事を断らないというポリシーにより、半導体・液晶を中心に幅広い分野の顧客と信頼関係を深めています。2014年にはDMG森精機「切削加工ドリームコンテスト」で銀賞を受賞。その技術力の高さを証明しました。

そんな同社の存在をアピールする場が展示会。県内外を問わず積極的に出展し、年6～7回にも及びます。そこでつながりができた顧客から、航空、医療、ロボットなど非常に高度な技術力を要する仕事も増えています。

女性社員が働きやすい環境づくり

工場内には最新の5軸加工機、5面加工可能な大型門型をはじめとする各種マシニングセンター、NC旋盤などの機械がずらり。「新たな仕事



「ドリームコンテスト」で銀賞受賞した加工製品

の話があっても機械がなくて断ることがある。断ることが増えた順に対応できる機械を入れる、という考え方で毎年設備投資をしています」と寛幸製造部長。各機械の異常を担当者のスマホに送信するシステムを構築するなど、生産管理の効率化も図っています。

ものづくり補助金を活用して導入したのが、高速・高精度門型マシニングセンター。産業用ロボットに搭載する精密部品の軽量化を実現したいというオーダーに対応したもので、加工の無人化と時間短縮を実現しました。

同社では30人ほどの社員の半数近くが女性。女性社員が働きやすい環境づくりも大きな特徴です。「私自身、子育てをしながら勤めていた時の思いがあるので、子育て中でなかなか勤め先がない女性も多く採用。誰かが急に休んでも対応できる体制をつくっています。66歳の女性も活躍していますよ」。

さらに障がい者の採用・教育にも熱心に取り組む、その人に合った仕事の提供と戦力化を実現しています。「今は1人ですが、もっと採用を増やしていこうかと考えています」。



女性もいきいき活躍



最先端マシンが並ぶ工場



高速・高精度門型マシニングセンター



株式会社エスケー精工

代表 代表取締役 山田夏江
創業 2000（平成12）年10月
資本金 1,000万円 従業員数 26名
本社 上田市塩川630-11

TEL.0268-36-0022 FAX.0268-36-0023
事業内容 アルミ長尺加工や5軸加工を中心とした金属部品加工

